

一般質問発言通告書

発言順位	9 番
------	-----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年6月10日

三島市議会議員 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19 番 野村 諒子

質問事項 1	一般廃棄物処理施設広域化計画及び三島市における課題について
具体的内容	
国において、平成9年5月28年付け衛環第173号に「ごみ処理の広域化計画について」が発出された後、すべての都道府県において、ごみ処理の広域化計画及びこれに類する計画が策定され、ごみ処理の広域化及びごみ処理施設の集約化に向けた取り組みが進められてきました。	
現在、静岡県「静岡県一般廃棄物処理広域化マスタープラン」に即して、県と三島市、裾野市、熱海市、長泉町、函南町の3市2町による広域化等に向けた検討及び協議が行われています。また、一般廃棄物処理施設広域化実現可能性調査を実施し、報告されました。	
三島市のごみ焼却施設は、平成元年11月に稼働以来、35年が経過し、平成12年、13年、平成25年、26年に大規模改修を行ってきたものの、耐用年数を超えていることから、建て替えの検討を進める時期に来ており、広域化への検討を進めることの必要性は感じるところです。	
そのような状況の中、同じように、伊豆半島南部の賀茂地域の1市3町（下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）による広域ごみ処理計画が暗礁に乗り上げているということが、ニュースになりました。事業費の高騰が背景にあり、南伊豆町は計画の脱退通知を各市町に送ったとも聞いています。	
このような情報もある中、三島市も加わって進めようとしているごみ処理広域化計画は、三島市の財政状況の中で、大丈夫なのか不安を感じるどころです。	
そこで、三島市のごみ処理施設の経緯、現状、広域化における三島市の建設費、運営費、ごみ運搬費等の負担割合等を伺い、少しでも三島市の負担が少なくする取り組みができないかも含めて、伺います。	
1 現在の三島市のごみ焼却場建設の経緯	
(1) 現在のごみ焼却場の建設費と当時の人口と焼却ごみの量	
(2) 現在のごみ焼却場の再生エネルギーの状況はどうか。	
(3) 温水施設利用を断念した経緯は。	
2 3市2町による広域化施設の建設費予測と交付金の予測、課題はないか。	
(1) 広域化により導入しようとしている施設の形態はどのようなものか。	
(2) 広域化によるごみ焼却施設建設費の高騰が懸念されるが考え方を問う。	
(3) 今後の国の交付金の予測は、減額されることはないか。	
(4) 環境に配慮した設備を導入した場合の、三島市の負担分（建設費、20年間運営費、ごみ運搬費等）はどのくらいになるのか。	
(5) 長期財政計画に、広域ごみ焼却場の三島市負担分は反映されているか伺う。	
3 広域化施設を利用する為の市内での事前処理の必要性	
(1) 積み替え施設の必要性、大型ごみの破碎施設建設の必要性は。	
(2) 人口割でなく、ごみの量により建設負担金が決まるのか、その場合、ごみ減量を更に進める必要性はないか。	
(3) 燃やすごみ処理から、燃やさないごみ処理への取り組みについての考え方はどうか。廃プラ、ビニール類の分別収集の取り組みについて問う。	
生ごみの分別収集、剪定枝、落ち葉、草等の回収と再生利用への取り組みを問う。	
(4) 下水汚泥の今後の取り組みは。（広域ごみ焼却処理施設を利用するか）	